

社会資本総合整備計画評価審議資料【河川課】

○計画の名称

①「清流を次代へつなぐ川づくりの推進」

- ・説明資料（スライド）・・・p. 1～6
- ・社会資本総合整備計画事後評価書・・・p. 7～10

事後評価 社会資本総合整備計画

清流を次代へつなぐ川づくりの推進

県土整備部 河川課

1

背景～清流の国ぎふづくり～

「清流の国ぎふづくり」施策

- ・「森・川から生まれる環境価値を活かす」ため、水辺の持つ良好な親水空間を創出し、まちづくりと一体となった川づくりを行います。

「清流の国ぎふづくり」の骨格(3つの柱と10の施策)

1. 清流を守る

- 生物が棲めるきれいな水を守る
- 自然と共生した川をつくる
- 「水みち」の連続性を確保する
- 土壌が流出しにくい山をつくる

2. 清流を活かす

- 森・川から生まれる環境価値を活かす
- 森・川が育む豊かな自然環境を活かす
- 森・川から生まれる県産品を活かす

3. 清流を伝える

- 清流を学び、次世代へ伝える
- 県民協働による流域活動に参加する
- 岐阜の清流を内外にPRする



自然と共生した川づくりの事例(梅谷川)



小中学校の「総合学習」の支援状況



流域一斉清掃の様子(長良川)

2

評価の対象となる社会資本総合整備計画の概要

1. 計画概要（計画名・計画期間・目標）

<計画名>

清流を次代へつなぐ川づくりの推進

<計画期間>

平成30年度から令和4年度

<計画の目標>

平成23年7月に発表した「清流の国ぎふづくり宣言」のもと、「清流を守る」「清流を活かす」「清流を伝える」の3つの柱と10の施策を掲げた「清流の国ぎふづくり」を進めるため、

まちづくりと一体となった河川環境整備を行うことにより、良好な河川空間の創出を図る。

2. 事業箇所

長良川圏域総合流域防災事業、木曾川・飛騨川圏域総合流域防災事業のうち、かわまちづくりを実施する箇所

基幹事業

長良川圏域総合流域防災事業(富加町) 木曾川・飛騨川圏域総合流域防災事業(中津川市) 計2事業

3. 目標を定量化する主な指標

・事業実施河川の水辺周辺におけるイベント開催数(川浦川)。

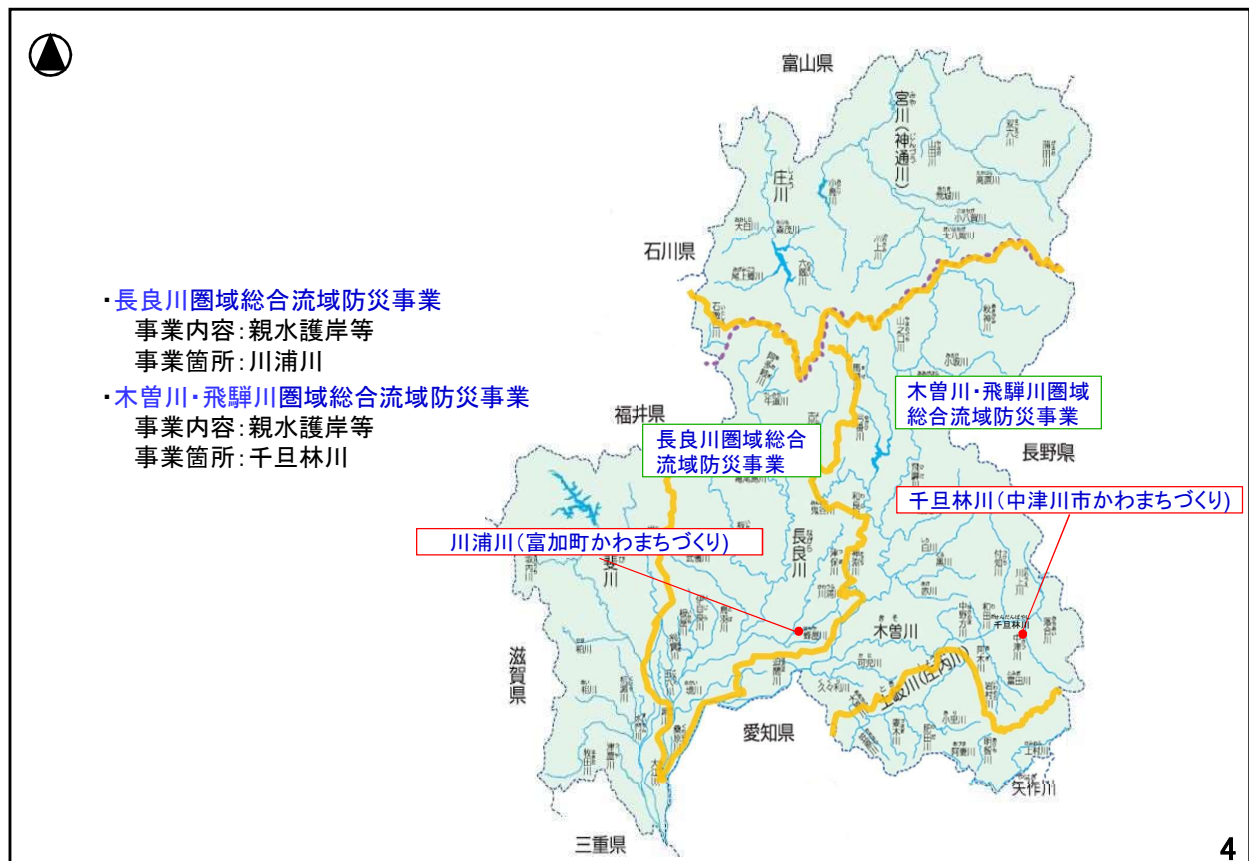
0 回 (H30年度) → 3 回 (R4年度)

・事業実施河川の水辺周辺におけるイベント開催数(千旦林川)。

0 回 (H30年度) → 0 回 (R4年度)

3

計画の概要(基幹事業箇所図)



事業実施内容

かわまちづくり支援制度とは・・・

「かわまちづくり支援制度」は、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す「かわまちづくり」の取り組みを、河川管理者が支援する制度。



河川管理者と市町、地域住民が連携し、「かわまちづくり計画」を作成



かわまちづくり支援制度に、作成した計画を登録



「かわまちづくり計画」にもとづき、ハード施策等を実施、支援



水辺の利活用

■かわまちづくり計画の登録要件

- ①地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ②利活用方策が地域において明確となっているものを対象
- ③施設の維持管理に地域の協力が得られるものを対象

■支援内容

ハード施策：

まちづくりと一体となった治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備

ソフト施策：

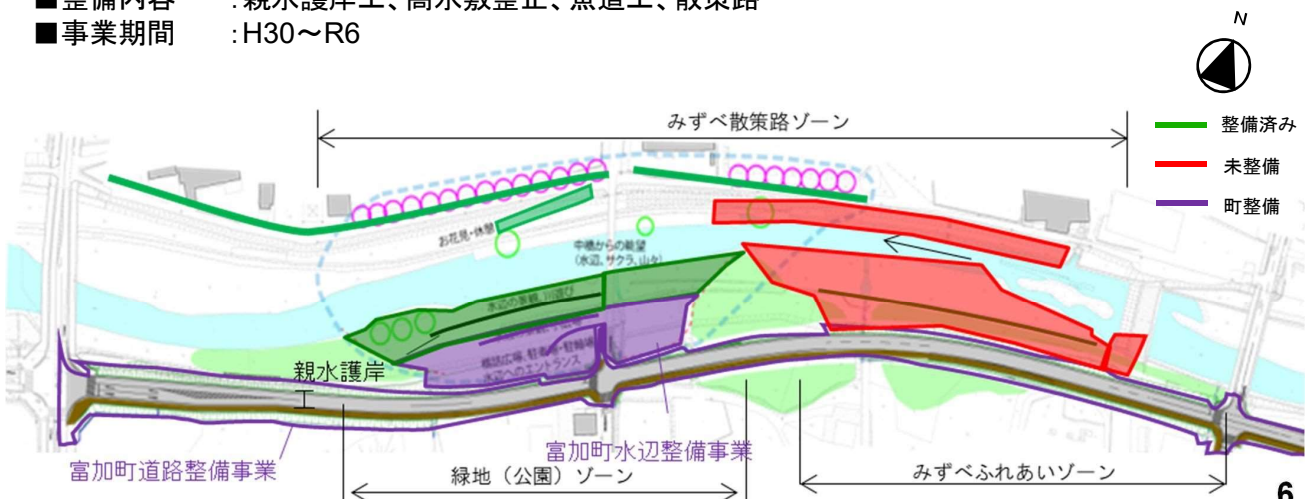
推進主体と連携し、「かわまちづくり」の実現に向けて必要となる調査・検討を実施 等

5

事業実施内容

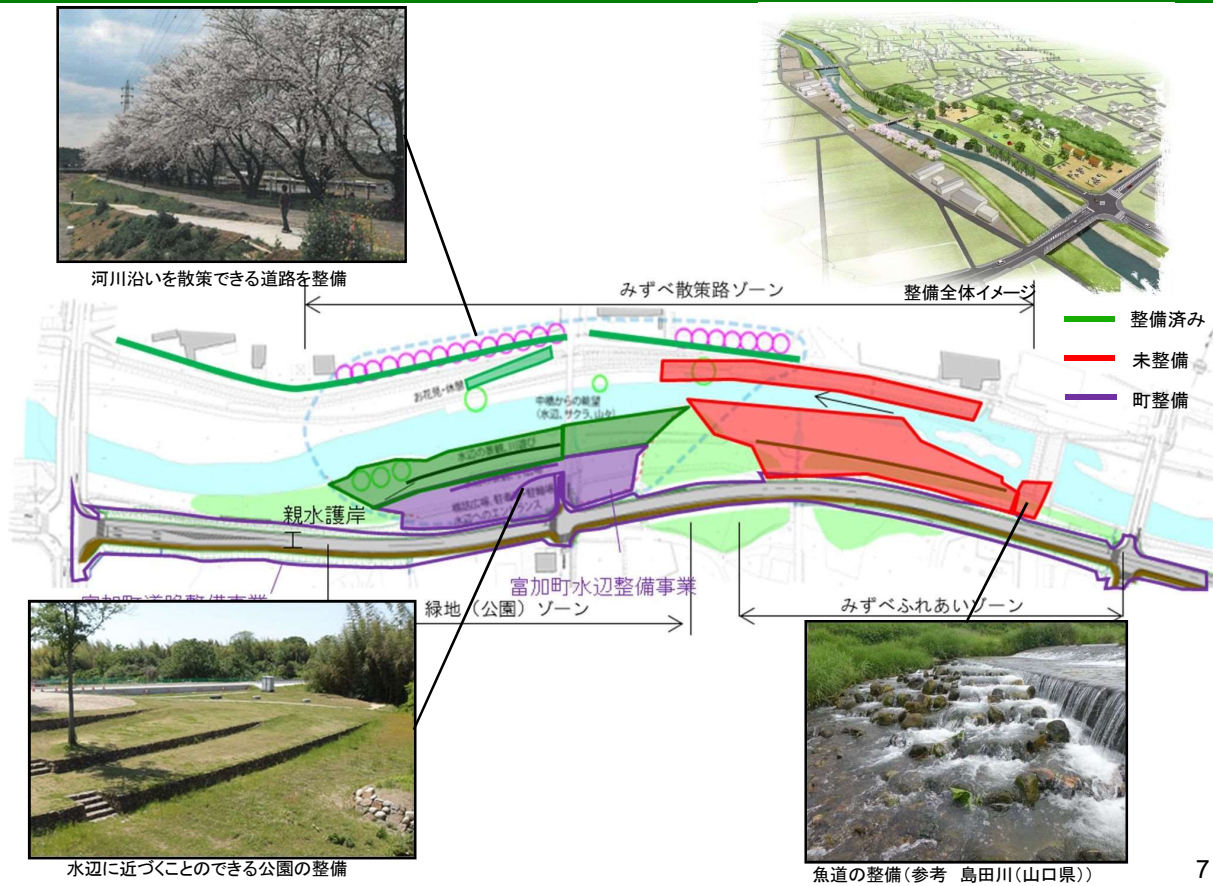
- ・平成30年3月26日付でかわまちづくり支援制度に登録。
- ・令和3年3月19日計画の変更登録
- ・利用者の視界に配慮した親水護岸及び河岸を整備することにより、居心地のいい空間を創出する

- 基幹事業名 : 長良川圏域総合流域防災事業
- 事業箇所 : 富加町
- かわまちづくり計画名 : 川浦川(富加町かわまちづくり)
- 全体延長 : L=0.30km
- 全体事業費 : 342百万円
- 整備内容 : 親水護岸工、高水敷整正、魚道工、散策路
- 事業期間 : H30～R6



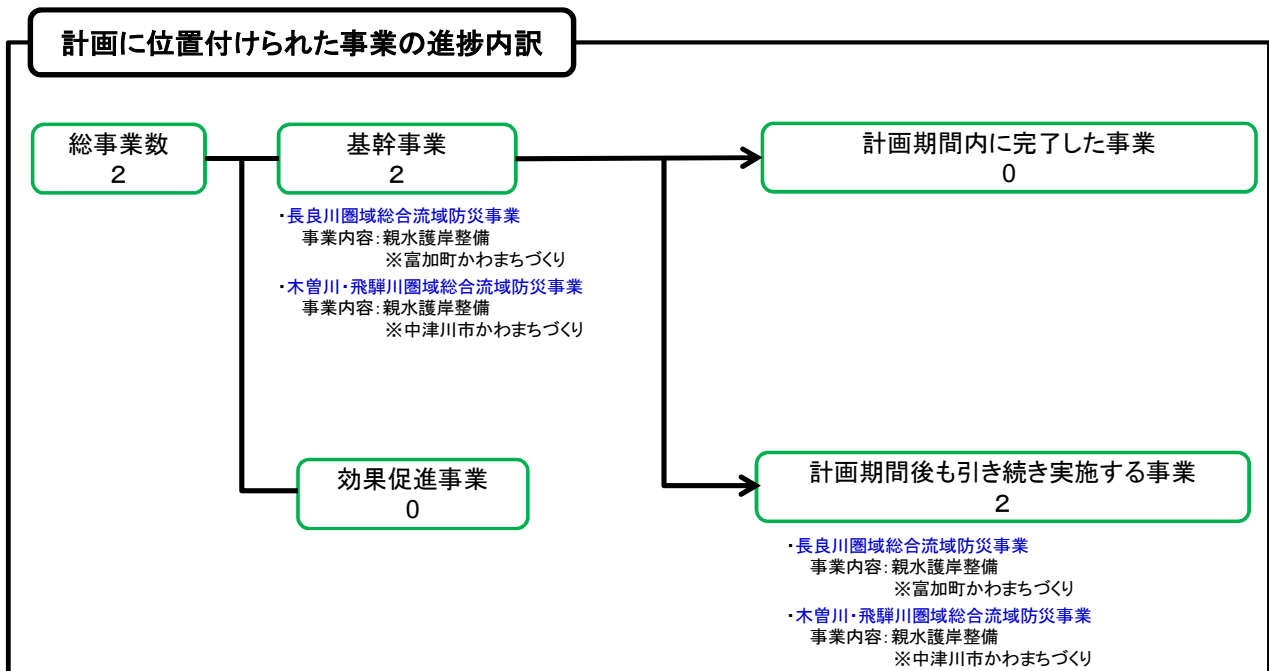
6

事業実施内容



事業の進捗状況

- 本社会資本総合整備計画の基幹事業である、長良川圏域総合流域防災事業の親水護岸等(富加町かわまちづくり)、木曾川・飛騨川圏域総合流域防災事業の親水護岸等(中津川市かわまちづくり)については、計画期間後も引き続き実施していく。



目標値の達成状況

- ・事業実施河川の水辺周辺におけるイベント開催数(川浦川)。
⇒ 目標値は達成(3回に対し3回)
- ・事業実施河川の水辺周辺におけるイベント開催数(千旦林川)。
⇒ 目標値は達成(0回に対し0回)

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値		結果		適用
					基準年度		目標年度		年度	
・川浦川の水辺周辺におけるイベント開催数を、0回(H30当初)から3回(R4年度)	回	事業実施河川周辺におけるイベントを開催した回数	かわまちづくりにより良質な水辺空間を創出し、公園・緑地等の有効活用を図ることで、魅力的な生活空間のあるまちづくりを推進する。	0	H30	3	R4	3	R4	達成
・千旦林川の水辺周辺におけるイベント開催数を、0回(H30当初)から0回(R4年度)	回	事業実施河川周辺におけるイベントを開催した回数	かわまちづくりにより良質な水辺空間を創出し、公園・緑地等の有効活用を図ることで、魅力的な生活空間のあるまちづくりを推進する。	0	H30	0	R4	0	R4	—

R4年度までに川浦川周辺で実施したイベント

- ・鮎の放流体験（実施日：R4.5.31）
- ・カワゲラウォッチング（実施日：R4.9.28）
- ・富加町民まつり 花火会場（実施日：R4.11.19）

9

今後の方針

◆今後の方針

”清流の国ぎふづくり宣言”のもと、「清流を守る」「清流を活かす」「清流を伝える」の3つの柱と10の施策を掲げた「清流の国ぎふづくり」を進める。

- 令和4年度以降も新たな社会資本総合整備計画において、引き続き事業の進捗を図り、良好な河川空間の創出を図っていく。

10

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期 事後評価の実施体制 岐阜県事業評価監視委員会において意見聴取	事後評価の実施時期 令和5年11月15日 公表の方法 岐阜県ホームページに掲載
○事業効果の発現状況 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	川浦川においては、まちづくりと一体となった河川環境整備の実施により、良質な水辺空間を創出し、整備済の公園・緑地等でイベントが開催されるなど、新たな利活用を図ることが出来た。 千旦林川においては、整備中であるため事業効果はまだ発現していないが、リニア駅周辺整備に関する会議で具体的な利活用の検討がされており、今後の活用が期待される。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	令和4年度以降も新たな社会資本総合整備計画において、引き続き事業の進捗を図り、良好な河川空間の創出を図っていく。

○目標値の達成状況		
指標 (略称)		
番号	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終 目標値	
	最終 実績値	
2	最終 目標値	
	最終 実績値	